

# 第 27 回 島根県眼科冬期学術講演会

# 第 44 回 島根大学眼科同門会学術集会

(日眼専門医制度生涯教育認定事業 No.11701, 59074)

## プログラム

日 時：2026年2月15日（日）

9時30分～13時05分

場 所：ニューウェルシティ出雲

出雲市塩冶有原町 2-15-1 (〒693-0023)

TEL 0853 (23) 7388

会 費：学会費 3,000 円

（コメディカル・学生等 無料）

- 発表はデジタルプレゼンテーションです。PC 及び USB 等をご持参ください。
- 本学会は日眼専門医制度生涯教育事業の認定を受けております。IC カードをご持参ください。
- 発表者は当日、200～400字程度の抄録をご提出ください。
- 一般講演は講演 6 分、質疑応答 4 分以内でお願いします。

島根県眼科医会  
島根大学医学部眼科学講座  
参天製薬株式会社

－開会のあいさつ（9:30-9:35）（島根県眼科医会 高梨 泰至 会長）－

一般講演 I （9:35-10:35）

（講演 6 分 質疑応答 4 分）

座長：山根 縁 先生

1. 角膜インレーKAMRA<sup>TM</sup>挿入眼とその反対眼に対する白内障手術の1例

○藤原裕丈（大田市・ふじわら眼科クリニック）

2. 白内障周術期の感染予防法アンケート 2025

○松浦一貴<sup>1,2</sup>, 宮崎 大<sup>1</sup>, 杉原一暢<sup>3</sup>, 子島良平<sup>4</sup>, 森 隆史<sup>5</sup>, 井上英紀<sup>6</sup>,  
小幡峻平<sup>7</sup>, 橋爪公平<sup>8</sup>, 盛岡正和<sup>9</sup>, 平野隆雄<sup>10</sup>, 木嶋理紀<sup>11</sup>, 山崎 駿<sup>12</sup>,  
三宅頌己<sup>13</sup>

（1.鳥取大学, 2.野島病院, 3.島根大学, 4.宮田眼科, 5.福島県立医大, 6.愛媛大,  
7.滋賀医大, 8.岩手医大, 9.福井大, 10.信州大, 11.北海道大, 12.独協医大,  
13.鹿児島大）

3. アトピー性皮膚炎を伴う緑内障患者におけるアーメドチューブ毛様溝挿入後に  
特徴的な角膜混濁を生じた1例

○井田千紗子, 大谷雛瑚, 高木啓伍, 吉田悠人, 谷戸正樹（島根大学）

4. 当院におけるプリザーフロおよびトラベクレクトミー術後視機能評価

○島田文香, 大谷雛瑚, 井田千紗子, 高木啓伍, 吉田悠人, 杉原一暢, 谷戸正樹  
(島根大学)

5. 外気温が眼圧に及ぼす影響：一般化加法モデルおよび分布ラグ非線形モデルを  
用いた時系列解析

○吉田悠人<sup>1</sup>, 藤野友里<sup>1</sup>, 道端伸明<sup>2</sup>, 赤木歩夢<sup>3</sup>, 小泉典子<sup>3</sup>, 奥村直樹<sup>3</sup>, 谷戸 正樹<sup>1</sup>  
(1.島根大学, 2.千葉県がんセンター研究所がん予防センター,  
3.同志社大学生命医科学部生体医工学科)

6. 鑑別に苦慮した白色瞳孔の1例

○杉原一暢<sup>1</sup>, 児玉達夫<sup>1,2</sup>, 谷戸正樹<sup>1</sup>

（1.島根大学, 2.島根大学医学部附属病院先端がん治療センター）

－休憩（10:35-10:45）－

座長：杉原 一暢 先生

7. 限局性腋窩多汗症治療薬の使用の関連が疑われる片眼性散瞳の二例

- 大谷雛瑚<sup>1</sup>, 山根縁<sup>1</sup>, 藤井正満<sup>2</sup>, 谷戸正樹<sup>1</sup>  
(1.島根大学, 2.松江市・ふじい眼科)

8. ロービジョンケアに関連する福祉制度

- 小村哲郎, 山根 縁, 谷戸正樹 (島根大学)

9. ビガバトリン投与初期における錐体網膜電図の振幅増大

- 馬場高志<sup>1</sup>, 魚谷 竜<sup>1</sup>, 山本亜沙未<sup>1</sup>, 橋本恭平<sup>1</sup>, 吉野 豪<sup>2</sup>, 岡西 徹<sup>2</sup>,  
前垣義弘<sup>2</sup>, 宮崎 大<sup>1</sup>  
(1.鳥取大学医学部視覚病態学分野, 2.鳥取大学医学部脳神経小児科学分野)

10. 島根大学におけるテプロツムマブの使用成績

- 市岡 昇, 谷戸正樹 (島根大学)

11. 島根大学における光線力学的療法の現状

- 山根 縁, 谷戸正樹 (島根大)

12. 眼瞼アポクリン腺腫瘍の2例

- 兒玉達夫<sup>1,2</sup>, 筒井愛佳<sup>3</sup>, 岩橋輝明<sup>4</sup>, 新野大介<sup>4</sup>  
(1.島根大学先端がん治療センター, 2.茗山会清水眼科, 3.島根大学眼科,  
4.島根大学病理部)

特別講演 I (12:00-13:00) ~ランチョン形式~

座長 谷戸 正樹 教授

## ぶどう膜炎の診断、治療について

武田 篤信 先生

大分大学医学部眼科学講座 教授

ぶどう膜炎は取っつきにくく苦手な印象を持っている先生は多いかと思います。原因を検索しても原因は判らないことが多く、ともすれば原因検索しなくても大多数の症例は副腎皮質ステロイドの点眼治療で治癒します。しかし、中には確定診断をつけずに副腎皮質ステロイド薬で治療したために不可逆な視機能低下に至ってしまう症例が潜んでいます。本講演では、こういった症例を見逃さないためのポイントについて解説します。

次にぶどう膜炎症例の手術に関連した治療について取り上げます。ぶどう膜炎は白内障、緑内障を合併する頻度が高いという報告があります。炎症が落ち着いている段階で手術を施行しないと、術後炎症によりかえって視機能が低下してしまうことが多いです。ぶどう膜炎に合併した白内障では術前術後の消炎について紹介します。さらに、ぶどう膜炎の中で硝子体手術では、ぶどう膜炎の視力低下の要因として最も多いぶどう膜炎黄斑浮腫、仮面症候群の診断的硝子体生検など、我々の取り組みについて紹介します。

-閉会のあいさつ (13:00-13:05) (谷戸 正樹 教授) -